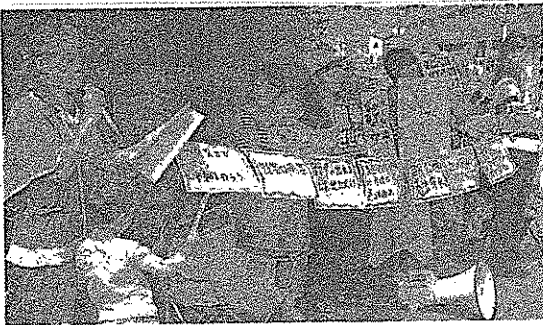


政権の暴走止める

市民熱気

戦争法案も新基地もノー



スタンディング宣伝する子育てママたち=27日、新潟市東区



「憲法守れ」のボードを掲げる参加者=26日、名古屋市中区

名古屋市中区で26日夜、「安倍内閣の暴走を止めよう」戦争法案は絶対反対！辺野古新基地建設は中止！8・26集会一が開かれ、1800人を超える市民が参加しました。安倍内閣の暴走を止めよう共同行動実行委員会主催。

名古屋集會に1800人

主催者あいさつで中谷雄二弁護士(秘密保全法で反対する愛知の会共同代表)は「戦争法案阻止へ、県下各地で連綿と根が反対運動を大きく広げよう」と訴えました。

各界からの発言で県弁護士会の平林拓也副会長は「改憲手続きをせず、集団的自衛権行使をするのは明確な違憲」と述べました。

焼津で集會・パレード

静岡県焼津市で23日に送らない・平和を考える焼津市民の集會が行われ、200人以上が参加しました。

市内に住む大学名誉教授、市元教育長、寺任職、教会牧師、同寮、保育園園長、会社役員など90人以上が呼びかけ人になりました。

ママたちが宣伝

新潟

新潟市東区の新日本婦人の会の地域班などの子育てママたちは、「安倍法案戦争法案」を勉強し反対する会を立ち上げました。同会は27日、区内のスーパー前でスタンディング宣伝しました。思い思いのプラカードを掲げ、「戦争で子どもを奪う」「誰の子ども殺さない」「国会議員は憲法守れ」「武力で平和はつくれない」「なごごころしまし」など、憲法力ママたちは、憲法力フェスタや戦争法案の学習・交流を重ねる中で、戦争法案に断ることも、戦後にもつけない、7月に初めてスタンディング宣伝をし、自分たちで会を立ち上げ、思いを伝えたいと訴えました。



「若者を戦場に送るな」と戦争法案反対を訴える参加者たち=23日、焼津市

共同代表の安藤美・静岡大学名誉教授が、「アメリカ言いなりに若者を戦場に送り出すなど許されない。全国でかつてない反対の声があがっている。焼津でも怒りの声を結集させよう」と訴えました。市民5人がリレートークし、共産党、民主、社民党、無所属議員も連帯あいさつ。ギター弾き語り、コーラスなども行われました。

女子大学生が「私は戦争法案に反対し、多くの日本国民と連帯して平和憲法を守り抜きます」とスピーチ文を読み上げました。集会後、鼓笛を響かせ市内をパレード。子どもを連れて若い母親が手を振って応援、老人からの声援、怒りから見る市民の反応がありました。

8/28 玉旗